

## 2008年(平成20年)の貧酸素水塊(まとめ)

2008年の貧酸素水塊の分布およびその規模をそれぞれ図1, 図2に示します。貧酸素水塊の初確認は5月7日で、ほぼ例年(1999~2007年平均)並みでした。5月中は貧酸素化が比較的弱く推移しました。しかし、6月になると内湾中央部~北部を中心に貧酸素化が急速に強まりました。このため、6~7月の規模は例年のほぼ2倍を示しました。また、7月15日には年間最大規模57%を示しました。8月始めに貧酸素水が南下し一部が内房へ流出したため、一旦内湾の貧酸素化は弱まりました。しかし、同月中旬には再び貧酸素化し、その後9月まで例年並みの規模で推移しました。10月は貧酸素化の解消が停滞しました。しかし、11月中旬には内湾のほぼ全域で貧酸素化が解消しました。貧酸素化解消の時期はほぼ例年並みでした。千葉県水質保全課によると、青潮は3回(8月下旬, 10月上旬, 中旬)発生しました。

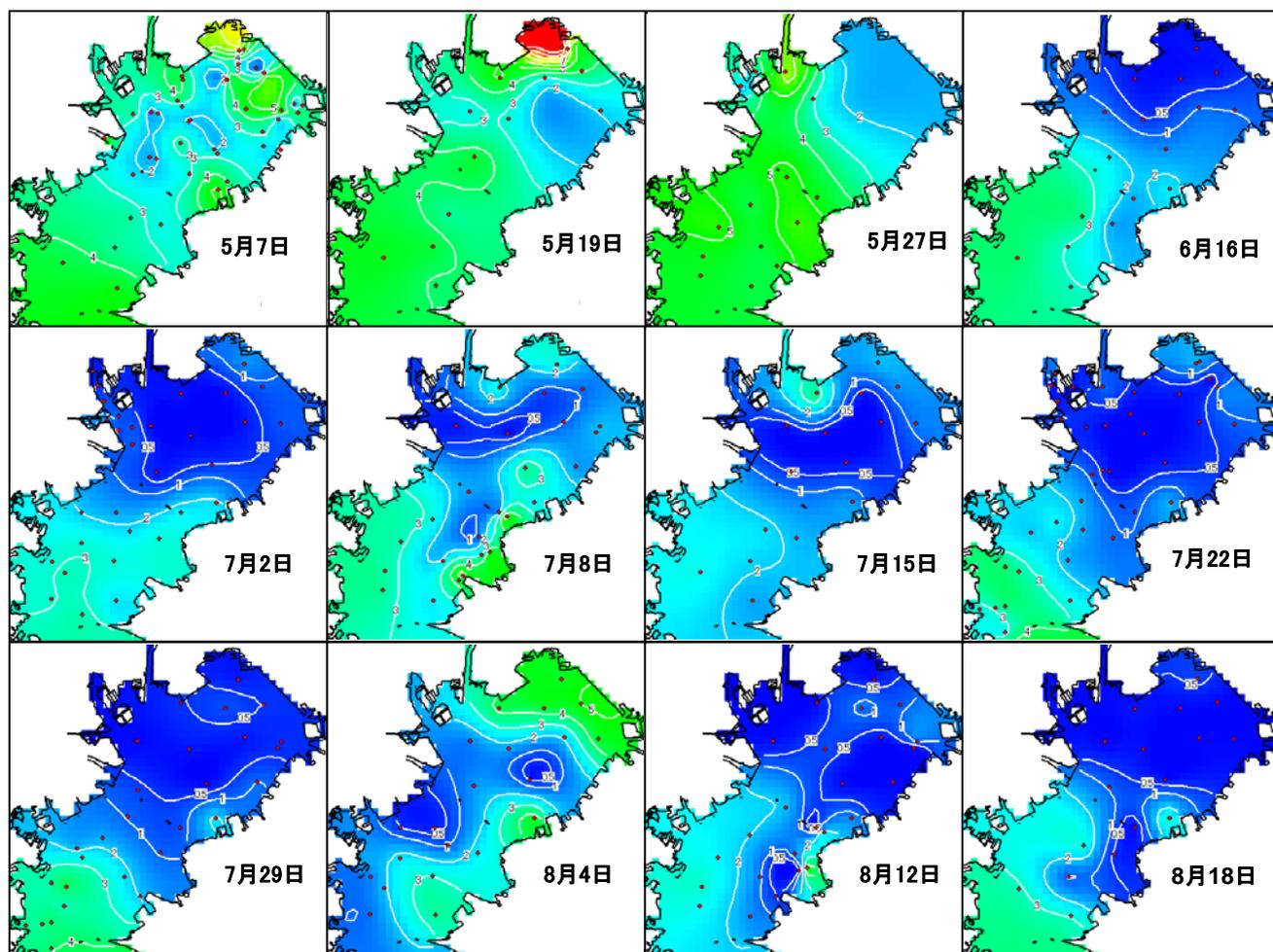


図1 貧酸素水塊の分布

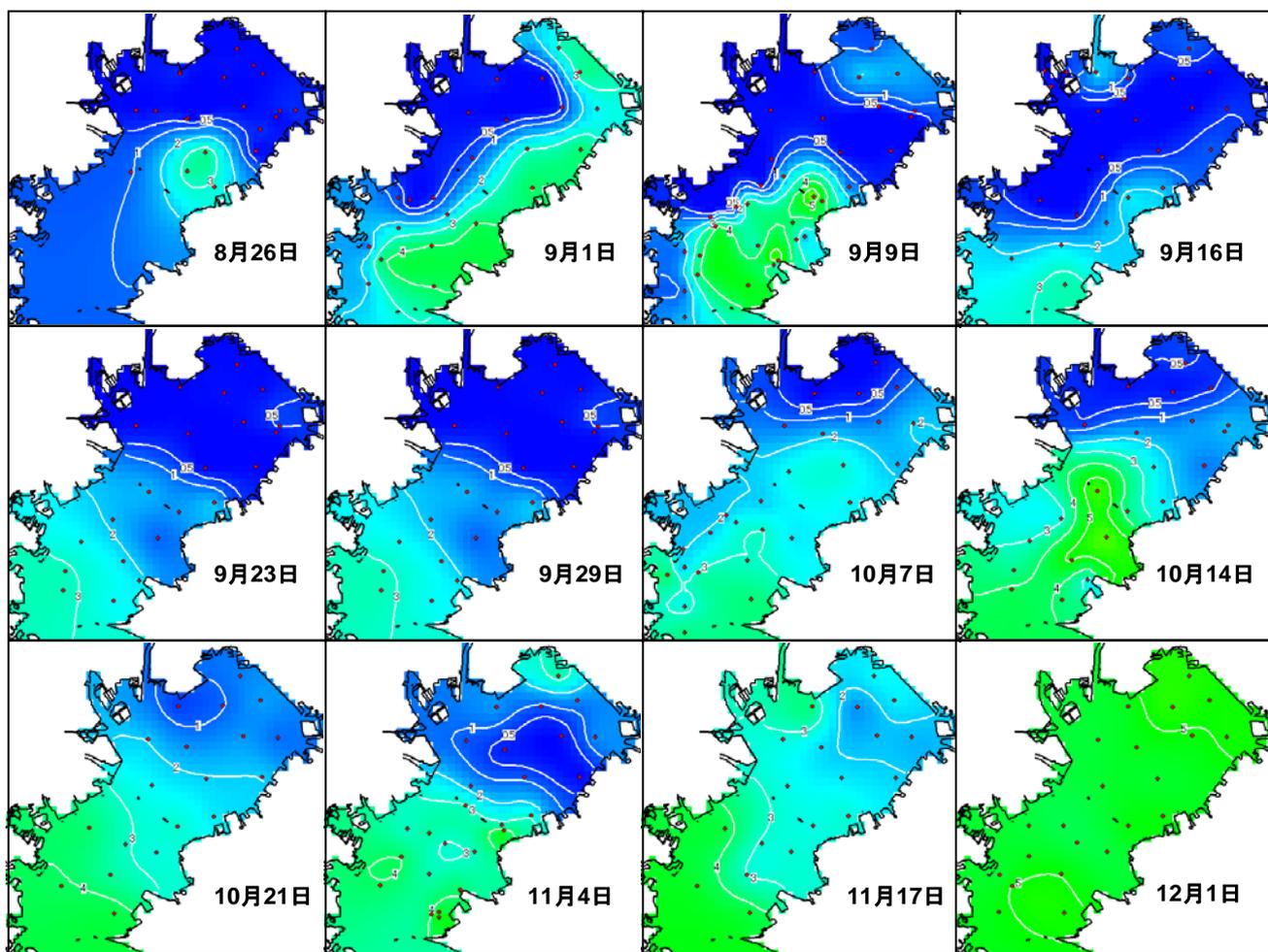


図1 貧酸素水塊の分布 10 8 6 4 2 0 (ml/L)

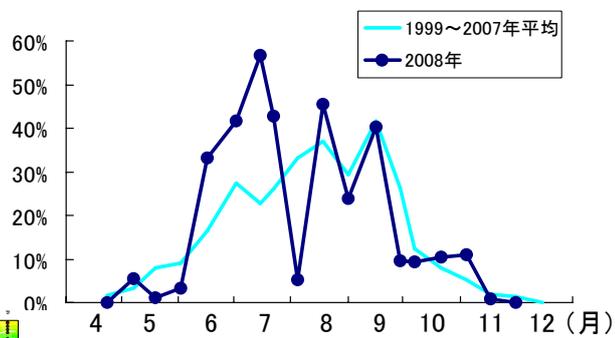
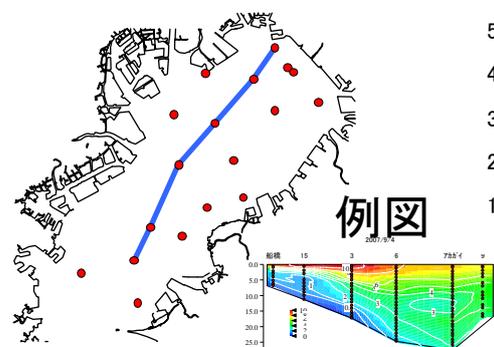


図2 貧酸素水塊の規模\*

※ 右図青ラインにおけるDO鉛直分布(例図)で、2.5ml/L以下が占める割合。